

●熊本大学 自然科学研究科

「イノベーション創出のための大学院教養教育」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

物事を根本にまでさかのぼって考える力や、幅広い視野から物事を把握する力を養成することを目的として、大学院教育の中に教養教育のカテゴリーを設けた。科学・技術の根底にある数学について、その思考方法や応用の仕方を学ぶ数理科学特別教育プログラムと、哲学・歴史・芸術など広い人間活動を学ぶ人間科学特別教育プログラムという、二つの科目群から編成された。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

大学院教育においては、教員も学生もそれぞれの専門に向けた意識が強いため、直接的な教育効果が見えにくい教養教育に対しては消極的であることが予想された。そのため当初は、非常勤講師を各教員から自発的に推薦してもらい、取得単位は修了要件に組み入れない、という仕組みにして、教養教育が抵抗なく浸透するよう工夫した。

支援期間終了後に、大学院教養教育に関するワーキンググループを設置してそのあり方を検討し、取得単位は修了要件に組み入れる（必修・選択は専攻ごとに決める）という改正を行うことが決まった。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

数理科学特別教育プログラム・人間科学特別教育プログラムの科目として、教養教育にふさわしいよう工夫された多彩な科目が開講された。それらの講義を受講することで、受講者はそれぞれの講義内容に興味を持ち、考え方やもの見方に広がりを持つことができた。

●熊本大学 自然科学研究科

「イノベーション創出のための大学院教養教育」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

国際会議・海外インターンシップへの派遣支援を組織的に行った。

博士後期課程の学生に対し、研究を提案させそれに対して研究経費を支給するという、自立支援事業を組織的に行った。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

海外派遣事業では、一人あたりの支援回数の制限を設けて広く支援が行き渡るようにし、英語力により選抜を行った。

自立支援事業においては、研究の提案の経験を積ませるため、研究の提案書を作成させ、研究内容についてのヒヤリングをして選抜を行った。

大学院教養の講義科目履修を促す工夫として、いずれの事業の選抜においても、講義科目履修者を優先して支援する仕組みを設けた。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

海外派遣事業・自立支援事業それぞれにおいて、成果報告書を提出させ、また成果発表の機会を設けた。海外派遣においては、高度な専門研究に接した刺激とともに、異文化に接することで自己を相対化する視点を獲得した様子がうかがえた。自立支援においては、研究の提案、資金の獲得、研究の遂行、結果報告という一連の流れを経験し、有意義な研究体験ができたように思われる。支援を受けた学生からは、いずれも有意義であったという感想を得ている。

●熊本大学 自然科学研究科

「イノベーション創出のための大学院教養教育」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

博士後期課程の学生が企画・運営する特別講義への支援を実施した。自分の専門にかかわらず、学生が興味を持った研究者や人物に自ら連絡し、講義・講演を依頼する。その講義・講演の企画を審査し、採択した場合には旅費と謝金を支給する。特別講義（講演会）の運営をすべて企画者の学生に任せ、企画・運営・コミュニケーションといった総合的能力の養成を目指した。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

学生の企画が、自らの専門に限った狭いテーマとならないよう、募集・選考の段階で学生とよく話し合った。事務手続き・会場の設定などの援助は行ったが、基本的に学生に任せて、特段の配慮をしないということが配慮であった。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

学生からの積極的な企画の提案があり、いずれも有意義な内容の講義・講演会が催された。それぞれの講義・講演会では参加者も多く集められ、参加した学生たちの視野を広げる効果があった。企画・運営を行った学生からは、人とのつながりを築いていくためのよい経験ができた、と好評であった。